

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年3月24日				
事業所名		公表日 令和7年3月24日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・のびのびと活動している。 ・狭すぎず、いくらかの広さです。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		・配置数が適切である。 ・十分に職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・児童に適した室内空間。 ・スケジュールなど見える形にして見通しがつきやすいようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・快適な室内空間。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・認められた環境になっている。 ・体調の変化や、児童の特徴、着替えや個別支援など必要に応じて使用できるようにしている（事務所・トイレ等）	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・PDCA設定である。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・保護者の意向を聴き、情報交換などの場「ゆんたく会」を実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・毎月行事会議を行っている。 ・ミーティングにて共有や話し合いの場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・年に何度か開催されている。 ・法人内研修で、障害特性の理解や支援のあり方について学んでいます。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		モニタリングや個別支援会議など、職員全体で話し合い検討し支援計画書を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画は会議等で共有しており、普段から意識して支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・こどもの支援に合わせて設定している。 ・各項目を意識し会議で協議している。支援内容も具体的に設定するよう心がけています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		毎月第1火曜日に実施 活動ミーティングを開き、意見や案をもちよってプログラムを作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		児童の慣れ親しんだ活動を入れつつ、児童のレベルに合わせた新たな試みを入れたりしている。	

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・活動ミーティングがある。 ・一部例として、散歩では集団での行動と個別での行動など支援に応じてわけたりしている。 ・月1回の活動MTで意見を出し合い、児童たちが楽しめそうな活動を取り入れている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・担当する児童を決めたり、スケジュール内容の共有、打ち合わせをして安全に行えるようにしている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいた点を共有している。 ・活動の内容や難易度を次回からどうするかや、児童のレベルにあわせての難易度設定の振り返りを行うことがある。 ・必ずではないが、気づいた点報告などあれば共有していると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今よりも行事の打ち合わせや、その日の振り返りの行いやしやすい環境作りをしていくようにする。 共有しやすい心がけていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・記録は残している。 ・毎日支援の記録を行い、その記録のもとに支援会議等を行っている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・6か月に一度モニタリングをしている。 見直しが必要な場合はアセスメントを行い調整する事もある。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・日常からおやつや余暇時間の過ごし方など、児童たちが自分で決める機会がある。 	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の送迎時に先生方との情報共有をしている。 ・また、電話連絡などで下校時刻の変更の確認等を行っている。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・年1.2程度大きい行事等で。 ・あまりないが、今後そういった場もてるよう話をしている。（学童との合同レクなど） ・交流したい考えはあるが、機会は設けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、行事に地域の放デイや学童や児童館での活動レクを企画し交流できるよう工夫していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・常に共通理解を持っている。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けの研修や講習等のチラシパンフレット等あれば配布でお知らせしている。 	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・設けている。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・計画書作成後、保護者への説明を行い、保護者からの同意を得ている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		年間4回実施 ・年3回保護者会（ゆんたく会）を開き利用児童の近況を聞いたり、自宅の話や保護者の悩み、雑談をしたり参加している保護者同士の交流の場を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・苦情や意見等あればすぐミーティングや話し合いを行います。迅速に対応できるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		・連絡ツール「コドモン」を導入しており、そのツールを使い行事や連絡事項の発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	地域の催しを見に行ったりするが、参加や招待といったのはあまりない。 ハローウィン等行事を行う際に地域の方に協力してもらう事はある。	これまでよりも地域に目を向けた活動内容を話し合っていく。招待できそうな活動には地域のお店や自治会などの協力をお願いを積極的に行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・非常災害に備え、避難訓練等を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		・アセスメント時に保護者確認し、発作内容や対応方法など打ち合わせし、職員全体に共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		食物アレルギーの把握と、できるだけその成分の食べ物を摂取しないよう環境作りをする。 医師の指示書がある場合、台帳に保管し職員全体で情報共有する。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・安全管理に必要な情報や資料の確認をミーティングなどでし、計画的に安全点検を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットや事故報告があった場合、再発防止のためすぐに共有しその後の支援につなげるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・主に資料研修など市町村の資料の読み合わせなどを中心に機会を設けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				